

2008年(平成20年) (1)

# おたる 西別院だより

季刊 第84号



「春の息吹」

## ◆日時

# 5月18日(日)

10:00 宗祖降誕会  
初参式  
法話  
コーラス(婦人会)  
お楽しみ会  
12:30 終了

## ◆書・華・絵を展示します。

書・華 双葉高校 生徒作品      華 お花教室 門徒作品  
絵 小樽幼稚園・若竹保育所・新光保育園 園児作品

平成20年  
親鸞聖人  
降誕会

◆場所 小樽別院本堂

5月18日(日)は月忌参詣をお休みさせていただきます

## 法

## 話

本願寺小樽別院では、五月二十一日に一番近い日曜日に親鸞聖人降誕会をお勤めいたします。(ちなみに本年は十八日です。)

さて、降誕会の「誕」という字について『広辞苑』で引きますと、①いつわること。でたらめ。うそ。「虚誕・荒誕」②ほしいままのさま。「放誕」③うむこと。生まれ

ること。「誕生・降誕」とあります。そもそも「誕」という字はありもしない事実無根のことを言うという意味が強く、「うまれる」という意味は最後にでてきます。

界に生まれてきた、事実にも目を向けずにきれいな事ばかりを言っている世界にうまれてきた。という意味です。

『歎異抄』の中にも「煩惱具足の凡夫、火宅無常の世界は、よろずのこと、みなもてそらごとたはごと、まことあることなきに、ただ念仏のみぞまことにておはします」とあります。

私たちはこの世に生まれてきたことは尊いと教えられてきました。ですが、仏法の無い人生であったならば、本当にその様なことが言えるのでしょうか？

いのちの行く先に怯え、いつかは消え去ってしまう

目先の欲望に執われ、怒りと悲しみのうちに人生を終えていくとしたら、こんな痛ましいことはありません。

親鸞聖人がお出ましにならなかつたら、今の私たちは真実のみ教えに会い、お念仏の中に生きることがなかつたと思います。

そして、私自身がこの世に生をうけ、お念仏という「まこと」に遇ったことを慶ばせていただく法縁とうけとめ、降誕会の日をお念仏申しながら迎えさせていた



「春の息吹」によせて  
第八十回道展入選作

小樽市展委員・

小樽美術協会会員

高橋 雅子(別院門徒)

やわらかな春の光を浴びながら、まだ肌寒い中の現場での制作。古草の間から、次から次へと咲きはじめる草花に、新鮮な感動。「春の息吹」を感じる時です。桜町郊外で描いた作品です。

# お寺のイロハ

春季彼岸会について

「彼岸」とは、インドの言葉

「パーラミター」(波羅蜜多)を

訳した「到彼岸」の略称です。

迷いの娑婆を此岸とし、さと

りの世界を彼岸とし、その彼

岸に到達するという意味です。

その到達する方法に、布施・

持戒・忍辱・精進・禅定・智

慧の六種があるとして、これ

を六度(六波羅蜜)といいます。

度は「渡」のことで、迷いの此

の岸からさとの彼の岸へわ

たるという意味です。

この彼岸の行事は、インド

や中国ではその風習はなかつ

たようで、わが国だけに平安

時代ごろから行われてきた仏

事とされます。

善導大師の「観経疏定善義」

に、仏が人々にお浄土を知ら

しめようと春分・秋分の二回、

西方を指し示されるとして、

「その日(太陽)正東より出で

て、真西に没すればなり。弥

陀の仏国は日の没するところ

に当たり、真西に十億の殺

を超過す」とあります。意味は、

この日、太陽は真東から出て

真西へ入る。日の沈む方向、

真西へ十億の殺を越えたと

ころに弥陀の浄土である」と

いったところでしょうか。

春と秋のお彼岸の中日は、

昼と夜の時間が等しく、太陽

が真東から出て真西に入りま

すから、この日没こそは、最

もお浄土を偲ぶにはふさわし  
いといえます。

また、この時期は「暑さ寒

さ彼岸まで」といわれるよう

に、気候の上からも法会(法

要)を修する時節としてもつ

ともふさわしいということか

ら。春分・秋分の日を中心

一週間の法会が務められるよ

うになったと思われれます。な

お、本願寺派ではこの彼岸法

会を仏得讃嘆の法令と称し、

「讚仏絵」ともいいます。



## 初参式のご案内

今年も親鸞聖人の降誕会(5月18日)に併せて初参式をとりおこないます。  
対象は生後百日ぐらいから三歳までの幼児で、式は短時間で終わります。  
記念品もご用意させて頂いておりますので、お気軽にお申し込み下さい。

お申し込み：別院寺務所(22-0744) 別院職員まで

# 仏教讃歌と若返り効果

鈴木 久司

仏教讃歌を通じて小樽別院婦人部の方々との出会いが始まり、やがて一年を迎えるに至りました。「西別院だより」への寄稿を機会に、婦人部の方々へ是非とも仏教讃歌を歌う会へのお誘いをすべく、この原稿を書いています。

お誘いの理由その一「声だし」は体内細胞が生き生きと

会員の方々の中には「カラオケ大好き」の方も多かろうと思います。マイ



クを手を持ち、心を弾ませながら、歌手になりきって歌う姿は何と幸福な表情でありますでしょうか。泣き顔や悲しい顔でマイクを握っている人を見たことはありません。しかも、歌っているその様子は必ずや全身で声を張り上げています。

これがいいですね。笑顔と声だしは、体をリラッ

クスさせてくれる上に、新鮮な空気を体中に取り組み、体中のドロドロ血液をサラサラにしてくれ、健康増進に役かっているのです。そんな健康増進法は、仏教讃歌を歌うことも同じ。マイクを持つことはないですが、皆で声を合わせて歌うことが一層効果を高めてくれるのです。

お誘いの理由その二「人との触れ合いも若返りの秘訣」

足もとが滑りやすい冬場は別として、決められた時間までに身支度をし、徒



歩あるいはバスでお寺に出かける。その間の緊張感と運動量。そしてお寺の会館についた時にほのかに漂ってくる香の香りが与えられる開放感。これも私たちには新鮮な気分を味あわせてくれる。日頃はこもりがちな昔の若者にとつて、普段は

お会いする機会が少ない会員の方々と顔を合わせ、言葉を交わす。挨拶や会話は脳細胞の活性化につながるのです。このことは、何よりも若返りへの秘薬とも言えます。若さは、病を招きません。十五日の婦人部の集いで思い切り声を出し終わって帰宅した後、鏡をごらん下さい。あなたはほんの少し若返っているはずですよ。

まだ、参加されたことがない方、毎月十五日の仏教婦人部に一度参加してみませんか。何よりもあなた自身のために。

御葬儀 年中無休 24時間受付

## 有限会社 小樽永楽社

小樽市長橋4丁目2-23  
31-4949 (代)

生花を使って花祭壇

### 札樽葬祭(株)

TEL 34-0444  
奥沢1-16-2

花の店 カトリア(有)

TEL 23-6487  
奥沢1-17-3

ご門徒さん  
を訪ねて

第四回

木下畳店さん

今回は別院の畳をお願いしている木下畳店でお話を伺ってきました。



「やあやあどうぞあがつて」と笑顔で迎えて下さった木下さんご夫妻。小樽別院との付き合いは親子三代、なんと百年近くになるそうです。ご主人は学生の頃からお店の手伝いをしてきたそうで、かれこれ五十年近くこの仕事に携わっていらっしゃるようです。

「昔の別院は暗くて寒くて怖かったなあ」と笑顔で話しますと奥さんも「本堂へ続く渡り廊下は今より狭くて傾いてたし、ついたて？がたしかあったんだよね」と相槌。昔はお寺の中も畳だらけで、畳



屋が五、六件集まって作業していたそうです。「昔、この山田町の坂は職人坂って呼ばれてたんだよ。畳屋以外にも織維問屋、仏壇屋、古物商、賑やかだったよ」と昔話を聞かせてくださいました。

そんなお二人がお寺の事を考えだすようになったのは父である二代目が亡くなった時だったそうです。仕事に追われてお寺のことはまかせっきりだったのが、父の死と向き合ってから初めてその存在の大きさ、お寺の大切さを知らされたそうです。「初代も家で息を引き取ったんだけど、親父

取材を終えて

今回仕事場を見学させていただいて印象的だったのは「何年たっても一人前になったかわからないよ。本当だったら断りたいくらい難しい仕事でも別院さんだっただけなら引き受けるさ」と笑いながら目の前でゴザの張り替えをする姿でした。職人の技もさることながら、その心意気頭のさがる思いでした（森）

三十周年記念大会に参加して

小樽別院仏教壮年会会長 辻井聡寛

後志組仏教壮年会連絡協議会「結成三十周年記念大会」が二月二十四日（日）俱知安町東林寺において開催されました。

現在組内寺院数二十三ヶ寺のうち仏教壮年会を組織しているのは十四ヶ寺であります。小樽別院からは九名の出席をいたしました。

前日からの吹雪に見舞われ、列車は上下線とも運休、バスに乗り換えて何とか開催時間迄には、間に合うことができました。

百十七名の参加の中、十四時より記念式典が開催され、献花・献灯・勤行・式辞に続いての組長の挨拶では、「仏壮も期待されるだけでなく、もつともつとあてにされる仏壮でありたい」と



の意見がありました。式典終了後には（後志組仏壮三十年のあゆみ）の上

映が行われ、若き日の活動風景やスナップ写真の放映を見るとき参加者の



中から懐かしがる声や照れる声も聞こえてきました。

記念講演として八雲町西教寺のご住職吉村善充師による「親鸞さまと今を生きる」あなたは問いを持っていきますか？という講題でご法話をいただきました。

「我が子の死を通して仏さまのはたらきに気づかされ、今まで見えてこなかったものが見え、今まで聞こえてこなかったことが聞こえてくるようになりました。」というご門徒のお話をしてくださりました。

今後の壮年会活動も更なるお念仏と聞法の輪を広げて、多くの若者に魅力のある壮年会に生まれ変わるようになりたいと思います。

# 5月~7月 行事案内

## 恒例行事

- 親鸞聖人降誕会
  - 日時 5月18日(日) 午前10時～
  - 場所 本願寺小樽別院本堂
  - 内容 法要、初参式、法話、お楽しみ抽選会
- 晨朝100日参拝
  - 日時 5月1日(木)～8月8日(金) 100日間  
毎朝6時30分～(約45分間)
  - 場所 本願寺小樽別院本堂場所

## 通年行事

- 総参拝
  - 日時 毎月1日・16日午前6時30分  
※毎月16日は、朝のお勤めの後、お粥があります。
- 永代経法要
  - 日時 毎日午前6時30分及び午後1時30分
- 宗祖親鸞聖人月忌法要
  - 日時 毎月15日・16日午後1時30分

## 常例布教(前期7日～11日後期13日～16日)

### 5月

- 前期 新潟県万栄寺  
丸山 文雄師
- 後期 京都府正住寺  
苗村 隆之師

### 6月

- 前期 福岡県西教寺  
森 哲人師
- 後期 札幌市覚英寺  
黒田 顕城師

### 7月

- 前期 三重県安養寺  
安藤 龍昭師
- 後期 増毛町西暁寺  
藤 順生師

3分間の  
心のともしび  
小樽別院



テレホン法話

24時間  
いつでも  
どうぞ

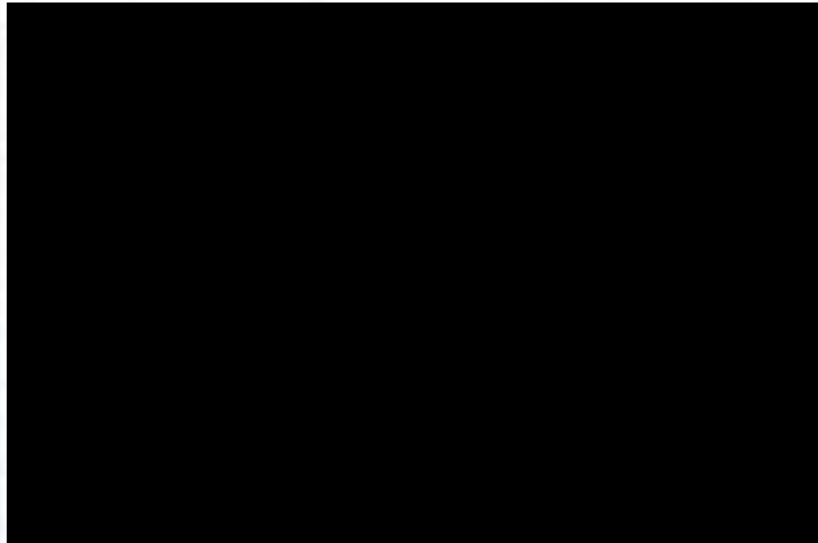
TEL 27-1616

●テレホン法話担当表

4/ 1(火)～15日(火)	西川	6/ 1(日)～15日(日)	村田
4/16(水)～30日(水)	磯村	6/16(月)～30日(月)	温井
5/ 1(木)～15日(木)	梶	7/ 1(火)～15日(火)	森
5/16(金)～31日(土)	森本	7/16(水)～31日(水)	脇

### 別院門徒物故者

（平成十九年十一月一日～平成二十年二月二十九日現在）



### 北川総代ご逝去のお知らせ

平成二十年一月五日

北川紋二さんが、お浄土に還られました。謹んで哀悼の意を表し、お念仏申します。

（北川紋二さんは昭和六十三年十一月十五日に就任され、二十一年に亘って小樽別院総代として、別院の護持発展のために多大なご尽力をいただきました。）

### 新入職員挨拶

#### 下田麻美事務員

平成19年12月15日より、小樽別院の事務員として勤務させていただいております。お寺の事に関しては詳しくありませんが、日々精進して参りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

#### 海藤真己子事務員

平成20年1月1日より勤めさせていただいております海藤真己子です。お寺のことは初めてで慣れない事ばかりですが、頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

#### 森本一燈参勤

このたび平成20年1月1日付けをもちまして、本願寺築地別院より転任となりました、森本と申します。出身は奈良県です。小樽の人は優しい方ばかりです。その優しさに応えるべく精進いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



### 退職者挨拶

#### 堀越 やよい事務員

この度、平成19年11月末をもちまして退職いたしました。2年半という短い間でしたがみなさまの温かいお力添えのおかげでなんとかやってこれました。今後もお寺での経験を活かして頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。

### 本堂修復懇志新規進納者御芳名

（平成二十年二月二十九日現在）

青海	佐藤	桑山	
陽一	久男	みさを	
		長澤	
高野	西川	雄司	
愛子	健三	加藤	
		サワ	
			（敬称略）

### 編集後記

長い冬も終わり、天気の良い暖かい日が続いており雪解けが早く感じられます。この第84号より編集担当の職員が替わりました。より一層みなさまに読んでいただけるよう頑張っていけますので、ご意見・ご感想をお寄せください。

#### 編集委員

門徒委員	別院担当者
平田 晴己	森本 一燈
竹澤 知恭	温井 卓生
宮本 和枝	森 敬信
福川ヨシ子	

#### 連絡先

**本願寺小樽別院** 小樽市若松1丁目4番17号 ☎0134-22-0744 FAX0134-29-4080

みんな 仲良し

# 小樽幼稚園

～まこと(いのち)の保育を行っています～

当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」を育てる保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

是非一度見学にお越し下さい。（年中見学可能です。）

- ☆保育時間→月曜日～金曜日(8:30～14:00/冬期間(12月～3月) 8:30～13:30)
- ☆昼食→お弁当～週2回/給食～週3回(パン食2回/米食1回)
- ☆預り保育→月曜日～金曜日(17:30迄)行います。(15:00迄は無料です/降園バス有)
- ☆プール遊び→年間を通して、温水プール遊びを行っています。(年長のみプール指導有)
- ☆英会話→月2回年長のみ行います。
- ☆体操教室→月1回年長・年中・年少に分かれて行います。
- ☆送迎バス→ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。
- ☆主な行事→花まつり・降誕会・運動会・親子遠足・バス遠足・いも掘り・報恩講・お遊戯会・おもちつきなど。
- ☆ならし保育→満2歳以上、就園未満のお子さんを対象に、火曜日クラスと木曜日クラス(毎週各1回)にて保育を行います。

※詳しくは、入園案内をごらんください。

## 園児募集

途中入園可能

- 募集園児 3歳児  
(H16.4.2～H17.4.1生まれ)
- 4歳児  
(H15.4.2～H16.4.1生まれ)
- 5歳児  
(H14.4.2～H15.4.1生まれ)

願書受付 新入園受付中です。  
※事前に御連絡下さい。



学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

小樽幼稚園 TEL/FAX 0134-22-6536

### 広告募集

「おたる西別院だより」に掲載して下さる商店や業者等を募集しております。  
詳しくは 0134-22-0744 別院だより担当者：森までご連絡下さい。